

2009年4月24日
食品表示検定協会

食品表示検定のご案内（報道用資料）

近年、社会的に食に対する「安心・安全」への関心が高まっています。食品表示は食品情報の宝庫であり、正しく読み取り表示することが大切です。食品表示検定協会は生産者、食品メーカー、小売業者、消費者まで含めた教育の機能として「食品表示検定」を提供したいと考えております。「食品表示検定」を学習することにより消費者は食を選択する力をつけ、事業者は正しく食品情報を表示することが広がります。こうした活動を通じ「食の安全・安心」の向上に寄与したいと考えています。

協会が行う「食品表示検定」の種類は以下の通りです。2009年はこのうち、「中級」、2010年「初級」の検定を行います。上級は中級合格者向けであり、2011年以降の提供を計画しています。

種類	対象者	例
上級	食品表示を食の生産、流通、製造において責任を持って行うための人材向け	品質管理責任者、販売部門責任者
中級	食品表示を理解する必要がある食の生産、製造、流通の現場の人材向け	品質管理部門員、販売部門員
初級（食の目きき検定）	食品表示を理解し、商品を選択したい消費者向け、食の生産、製造、流通の食品表示の初心者向け	主婦、学生、販売員、販売パート

2009年は以下の事業に取り組んでいきたいと考えております。皆様のご支援、ご鞭撻をお願い致します。

<2009年事業内容>

① 実施検定試験

団体割引、Web 割引設定

種類	実施時期	受験料（税込）
中級	2009年11月24日（火）	8,000円
初級	2010年2月14日（日）	3,800円

② 会場

東京、札幌、仙台、名古屋、大阪、福岡（6か所）。

③ 検定認定テキストの発刊

2009年4月認定テキスト中級、5月たべものちゃれんじ（子供向け）、8月認定テキスト初級発刊します。

④ 検定試験対策セミナーの開催、通信教育、ビデオの開発

検定試験に先立ち検定試験対策セミナー開催、通信教育の開発、ビデオ開発を行います。

⑤ 食品表示情報コミュニティサイト（「食の目ききクラブ」）の開発

食品表示検定合格者向けの食品表示の意見交換、情報収集、分析のコミュニティサイトの開発を行います。

以上

2009年4月24日

食品表示検定協会の概要

1. 設立目的

食品表示検定協会は、食品の安心、安全、品質に密接に関わる食品表示に関する能力検定制度を通じ、食品表示に関する知識の普及・啓発を行い、食品表示に関する知識を有する人材の育成および資質の向上を図り、生産、流通、小売を通じて安全・安心な食品の流通を促進し、消費者及び食品関連事業者の利益、および将来の消費者となる子供に食の学習機会を提供することを目的とする。

2. 設立日

2009年3月17日

3. 運営委員

(代表) 宮城大学 教授 池戸重信

(副代表) 日本トレーサビリティ協会 代表 大見英明 (コープさっぽろ理事長)

ハウス食品株式会社 常務執行役員ソマテックセンター所長 田口昌男

ネスレ日本株式会社 代表取締役社長 クリス・ジョンソン

雪印乳業株式会社 専務取締役 川成真美

大塚製薬株式会社 常務執行役員 坂巻博司

東京海洋大学 教授 日佐和夫

4. 住所・連絡先

〒102-0083 東京都千代田区麴町 2-12-13 L Y N X 麴町 4 F

TEL : 03-5226-6737 FAX : 03-5226-6723

食品表示検定協会 事務局長 黒柳要次

以上